

1

3年間の計画

	目標	平成29年度(2017年度)	平成30年度(2018年度)	平成31年度(2019年度)
中学校ブロック保幼小中連携	ルールを守り、努力を惜しまない子どもを育てる。 友達と協力し、	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携者会議の開催</li> <li>・中学校ブロック合同授業研(12/6 中学校ブロック連携の日)</li> <li>★ブロック内の幼小中の研究授業に積極的に参加する</li> <li>・連携教員による取組み</li> <li>★出前授業</li> <li>・天中ブロックスタンダードの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29の取組みの継続</li> <li>・中学校ブロック合同授業研の開催</li> <li>・連携カリキュラムの再確認</li> <li>・連携教員による取組み</li> <li>★出前授業</li> <li>★英語授業の引継ぎ</li> <li>・天中ブロックスタンダードの作成準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30の取組みの継続</li> <li>・中学校ブロック合同授業研の開催</li> <li>・連携カリキュラムの再確認</li> <li>・連携教員による取組み</li> <li>★出前授業</li> <li>★外国語授業づくり研究会の開催</li> <li>・天中ブロックスタンダードの実施</li> </ul>
確かな学力の育成	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問や教材の工夫。</li> <li>・書くことを重視。</li> <li>・話し合い活動の充実。</li> <li>・人の話しを目で聴く態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のふりかえりの徹底。</li> <li>・メモを取る力を育てる。</li> <li>・能動的学習の実施。</li> <li>・教師間での授業参観・授業交流の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究授業の充実。</li> <li>・アクティブラーニングの定着。</li> <li>・見通しを持たせ、全ての生徒が授業参加できる。</li> </ul>
豊かな人間性を育む	個性を尊重して行動できる生徒集団の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりを大切にし、互いに高め合い人間としての生き方や命の尊さについて深く考える集団を育てる。</li> <li>・一人ひとりの個性を認め合う集団を育成し、寛容と思いやりの心を育てる。</li> <li>・自分や仲間を大切にし、ともに成長できる学年集団を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりを大切にし、互いに高め合い人間としての生き方や命の尊さについて深く考える集団を高める。</li> <li>・一人ひとりの個性を認め合う集団を育成し、寛容と思いやりの心を高める。</li> <li>・自分や仲間を大切にし、ともに成長できる学年集団を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりを大切にし、互いに高め合い人間としての生き方や命の尊さについて深く考える集団を確立する。</li> <li>・一人ひとりの個性を認め合う集団を育成し、寛容と思いやりの心を確立する。</li> <li>・自分や仲間を大切にし、ともに成長できる学年集団を確立する。</li> </ul>
健康・体力の増進	体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体的な活動</li> <li>・活動的で協同的な取組み</li> <li>・集団行動の取組みの模索・検討</li> <li>・体力づくりの重要性の啓発</li> <li>・補強運動の充実化</li> <li>・教師の指導力向上</li> <li>・運動機会の確保</li> <li>・体育的行事の模索・検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度の取組みの継続</li> <li>・集団行動の取組みの充実化</li> <li>・補強運動の充実化</li> <li>・運動機会の確保</li> <li>・体育的行事の充実化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度の取組みの継続</li> <li>・集団行動の充実化</li> <li>・継続した体力作り(補強運動の充実化)</li> <li>・運動機会の確保</li> <li>・体育的行事の充実化</li> </ul>
支援教育の充実				

## 2

# 今年度の結果と取組みについて

## (1) 全国学力・学習状況調査

### ○●国語●○

#### 国語A

(領域ごと)

①話すこと・聞くこと

おおむね良好な結果であった。

②書くこと

おおむね良好な結果であった。

③読むこと

おおむね良好な結果であった。

④言語事項

おおむね良好な結果であった。

(問題形式)

①選択式

おおむね良好な結果であった。

②短答式

おおむね良好な結果であった。

③記述式

出題なし。

(無解答率)

おおむね良好な結果であった。

(その他)

#### 国語B

(領域ごと)

①話すこと・聞くこと

おおむね良好な結果であった。

②書くこと

おおむね良好な結果であった。

③読むこと

おおむね良好な結果であった。

④言語事項

おおむね良好な結果であった。

(問題形式)

①選択式

おおむね良好な結果であった。

②短答式

おおむね良好な結果であった。

③記述式

おおむね良好な結果であった。

(無解答率)

おおむね良好な結果であった。

(その他)

#### 分析

朝読の時間などで読書に親しんでいるため、比較的、読む力が育っているが、根気よく続ける力に課題があり、文章問題などの何十字と書く問題に対して、苦手意識がある。自分の考えを、まとめて書くことに根気よく取り組める生徒と取り組めない生徒の差が激しく、授業などでも自信をもって取り組ませたい。そのために色々な意見を発表できる授業をすることが望ましい。

# 〇●数学●〇

## 数学A

(領域ごと)

- ① 数と式  
おおむね良好な結果であった。
- ② 図形  
おおむね良好な結果であった。
- ③関数  
おおむね良好な結果であった。
- ④資料の活用  
おおむね良好な結果であった。

(問題形式)

- ① 選択式  
おおむね良好な結果であった。
- ② 短答式  
おおむね良好な結果であった。
- ③ 記述式  
出題なし。

(無解答率)

おおむね良好な結果であった。

(その他)

## 数学B

(領域ごと)

- ①数と式  
おおむね良好な結果であった。
- ②図形  
おおむね良好な結果であった。
- ③関数  
おおむね良好な結果であった。
- ④資料の活用  
やや課題が残る結果であった。

(問題形式)

- ①選択式  
おおむね良好な結果であった。
- ②短答式  
おおむね良好な結果であった。
- ③記述式  
おおむね良好な結果であった。

(無解答率)

良好な結果であった。

(その他)

## 分析

### 数学 A

知識・理解と数学的スキルについては、日頃の授業での学習内容の振り返りや演習などの成果もあり、正答率が高かった。このまま、学習をさせていきたい。

### 数学 B

数学的な見方や考え方については、比較的できていた。授業において、自分で考える時間を設定したことが良かったと思われる。但し、資料の活用については、系統的なものではないので（1年、2年のときだけ学習する。）解答率が他の問題に比べて悪かった。そのときに、習ったことは理解しているが、時間が経つにつれ、忘れてしまっているようである。

## ○●経年比較●○

### 全体的な傾向についての分析

無解答率は過去7年間で最も高い結果となってしまった。また、平均正答率に関しても過去7年間で全国比に対して最も悪い結果となった。この結果から難解な問に対して解くことを途中で諦めてしまう傾向があることがわかる。基礎学力の低下により平均正答率も下降している。基礎学力の定着のためにも学習意欲向上に関する取組みを行っていく必要がある。

### 学力高位層と学力低位層、エンパワー層についての分析

学力高位層においては昨年よりも減少する結果になった。中間層については昨年よりも増加している。学力低位層については昨年同様、全国比を上回る結果になった。中間層は昨年から比べ微増したが、全体的には下降しており、学習内容が身につけていないことがわかる。テスト前の学習会への参加率の向上や、日常の授業や課題を大切にさせて低位層や中間層の底上げが必要である。

## ○●取組み●○

### 学力向上に関する取組み

#### ○「チャイムと同時に授業開始」を徹底する。

教師がチャイムが鳴ると同時に授業を開始する習慣をつける。

その一方で、授業終了のチャイムが鳴った時点ですぐに授業を終わる。

成果

- ・授業の開始・終了をはっきりさせてメリハリをつけることができる。

#### ○朝読に対する指導

「朝の読書」において4つの原則を守らせる。

- ① 全員で読む(担任も)
- ② 毎日読む(習慣をつける)
- ③ 好きな本を読む
- ④ ただ読むだけ。

成果

- ・朝の読書の続きをそれ以外の時間に読むようになった。
- ・遅刻や欠席の生徒の数が減少する。
- ・朝の1時限目の授業が静かに落ち着いて開始できる。

#### ○学習会の実施

定期考査の際に実施。

成果

- ・少人数での取組みになっているため、普段質問できない生徒も積極的に聞くことができ学習意欲向上につながっている。

#### ○学習の手引きの活用

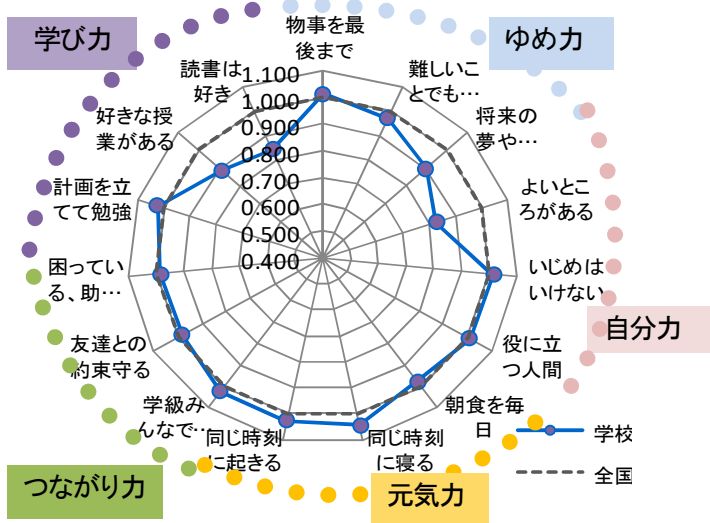
年度当初に各教科より配布。

成果

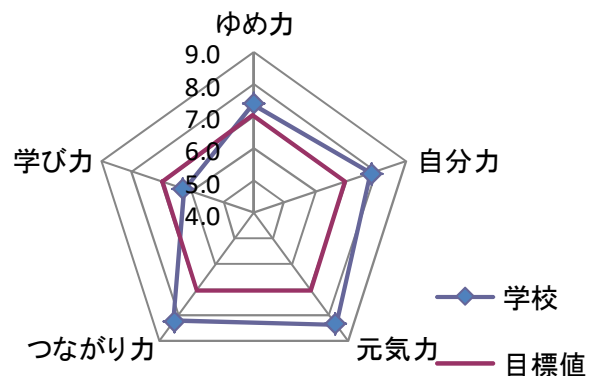
- ・授業の受け方、評価の仕方、家庭学習の仕方を提示することで各教科の学習に見通しが持て、学習意欲の定着につながっている。

# ○●子どもたちに育みたい力●○

5つの力 全国との比較



5つの力 目標値との比較



## 分析

ゆめ力(将来展望を持ち、努力できる力)

→ “難しいことでも挑戦”、“将来の夢や目標がある”が全国比を下回る結果になり気がかりである。日々の学習が未来に向かっていていると、将来の自分を作っているという実感を感じられるような取組みが必要である。

自分力(規範意識を持ち、自分をコントロールできる力)

→ “よいところがある”という項目に関して全国比を大きく下回った。その一方で、“役に立つ人間になりたい”という項目では全国比に達した。自尊心が低い一方でまわりに貢献したいという前向きな気持ちもあることがわかった。

元気力(規則正しい生活を送る力)

→ 早寝早起きの生活リズムがしっかりとれている生徒が多いことがわかった。その反面、朝食を毎日欠かさずとる生徒が全国比を下回った。

つながり力(他者を尊重し、積極的に人間関係を築こうとする力)

→ “学級みんなで協力”という項目で全国比に達した。協力したい気持ちがあるにも関わらず、友達との約束をま守る、困っている人を助けるという行動がとれていない現状がある。

学び力(学校の授業等で、意欲的に学ぶ力)

→ 今回5つの力のうち唯一目標値を下回る結果となってしまった。好きな授業がないということや、読書が嫌いということが実態として浮彫りになった。朝読の徹底や、日々の授業実践において、興味関心が沸くような魅力的な授業づくりを教員が実践していく必要がある。

## 取組み

ゆめ力→ 現行の「職業聞き取り学習」や「職場体験」などキャリア学習の継続。日々の授業において、自分の将来像が描けるような教材開発を行う。

自分力→ 学級役員や教科係など自分の役割を自覚させ、行動を起こしていくことで、周りから認められる経験を数多く体験させる。

元気力→ 朝食を欠かさず食べて登校できるように保護者にも協力してもらう。

つながり力→ 他者に関心を持ち、人と人とのつながりをより感じられるような取組みを行う。

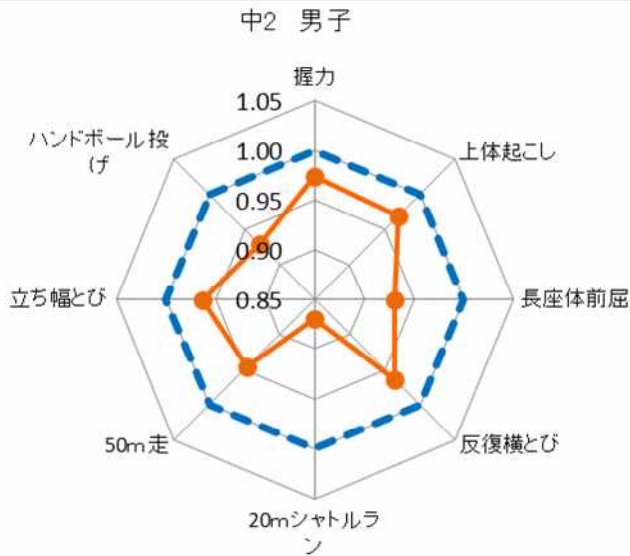
(体育大会・天フェス・クラスマッチ)

学び力→ 「魅力ある授業づくり」(グループ学習・基礎・基本の徹底)を推し進める。朝読を徹底し、本を毎日読む習慣をつける。図書委員からの本の紹介など充実した読書の時間を設ける。

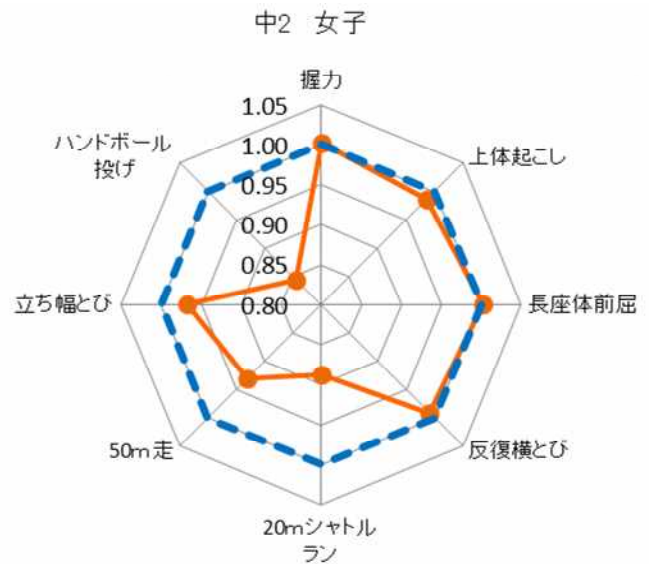
## (2) 全国体力・運動能力、生活習慣調査

### ○●体力●○

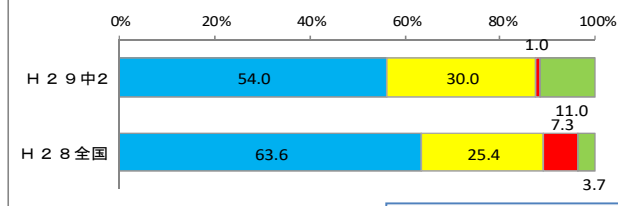
男子 (中2)



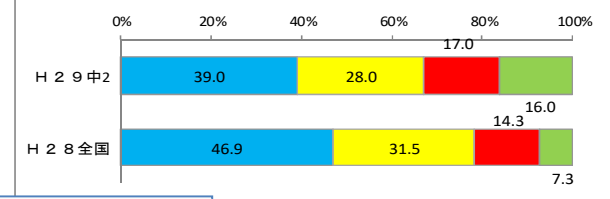
女子 (中2)



運動・スポーツが好きですか(中2男子)



運動・スポーツが好きですか(中2女子)



■好き ■やや好き ■やや嫌い ■嫌い

### 分析

男子はすべての種目において平均値を下回っている。特に 20m シャトルランが大きく下回っており持久力が低い。一方で握力や上体起こしは全国の平均値に近いことから筋力はある。

この結果から全体的に低いため、体力の向上を目標とした様々な運動に取り組んでいく必要があると考えられる。また昨年度よりも下がっていることから、運動能力の低下が考えられる。

女子においては全国平均に近い種目が多いが、20m シャトルランとハンドボール投げが極端に全国平均を下回っている。

この結果から筋力や敏しょう性、柔軟性は高いが、持久力と巧ち性が低いため向上させる必要がある。また昨年度に比べると少し下がっている傾向にあることから、補強運動を充実させて向上させる必要がある。

### 取組み

男子においては、全体的な向上が求められることから準備運動や補強運動を充実させることで向上させると共に様々なスポーツを行うことで、いろいろな動きをさせる。精神的に幼いところがあり、準備運動や補強運動を真面目に取り組む意欲が乏しい傾向がある。また楽な方法を考えたり、周りに流されたりする部分もある。身体的な成長とともに精神的にも中学2年生として良識ある行動が取れるように指導していく。そしてスポーツの楽しさを教えながら、体力の向上を目指していきたい。

女子においては、全体的に向上させていきたい。準備運動や補強運動を充実させると共に、ボールを扱う等様々なスポーツを行うことで、いろいろな動きをさせる。